

平成24年度 事業報告

倉敷芸術科学大学

3年後の創立20周年を前にして、教職員が一体になり、地域と協力して、地域の活性化に役立つ学生を育てることに努力します。



芸術、産業科学技術、生命科学の3つの学部の教育内容を、時代と地域の要請に応えられる形に組み替えるため、外部諮問委員会を結成し、地域の方のご意見をお聞きする機会をもちました。

3つの学部の連携を強化して、学生が芸術、産業科学技術、生命科学のどの学部の講義もこれまで以上に取りやすくし、幅広い知識と柔軟な思考力を持つ学生の育成を引き続き行っていきます。

一般教養教育をこれまで以上に重視して、地域で活躍することができる常識と教養を身に着けた学生を継続して育てていきます。

遠隔地通信教育システムを使って他大学の講義を聴くことで単位を取得できるようにし、学生の多様な要望に応えられるように検討しました。

学生の健康を守るために大学構内の全面禁煙を実施し、大学キャンパスが学生にとって勉強しやすく楽しめる空間になるように努めました。

倉敷芸術科学大学 学長 唐木 英明

教学の充実

■キャリア教育

平成18年度から3年間、現代GPで培ったスキルをもとにさらに発展させ、「倉敷まちづくりプログラム」と位置づけ、前年度に引き続き前に踏み出す力、チームで働く力、考え抜く力を養うための職務体験を通して、課題発見力・実行力・状況把握力等、自らの役割を見つけ、積極的に自立・挑戦していけるキャリアの形成や社会人に求められる基礎的能力を高める教育の実践に努めました。

■産官学連携教育

倉敷市の推進する中心市街地活性化事業や経済産業省所管の戦略的中心市街地商業等活性化支援事業と協力し、都市づくり、産業、観光振興など地域と連携した人材育成に努めました。また、デザイン・映像分野では企業や行政機関から依頼される製品デザイン・CM等の製作により、学生の意欲向上をめざした生きた課題授業を実践しました。

■高大連携教育

文部科学省SSH(スーパーサイエンスハイスクール)採択校の岡山県立玉島高等学校とはIT科学や生命科学分野、岡山県立総社南高等学校・香川県立高松工芸

高等学校および広島県立熊野高等学校とはキャリア教育や美術工芸分野、岡山理科大学附属高等学校とは美術工芸、デザイン、アニメーション、IT科学分野での連携を引き続き行い、大学、高校間の境目のない接続教育と本学の教育理念「芸術と科学の協調」の実現に努めました。また、主としてSSH採択校や教育提携校の生徒に対して、夏季休業中に大学の研究室で課題研究の一環として実験・実習や制作を行う「研究室入門プログラム」を開設し、高校生の創造性・独創性を培い研究能力を高めるよう高校との連携強化に努めました。

■初年次教育

昨年度に続き、学習支援センターを中心に入学前の新入生に対し、課題をまとめた「Learning Support(入学前教育課題集)」や「学習支援センターだより」を作成、送付し、新入生が大学生活に期待や希望を抱いて入学できるよう、入学前準備教育を充実させました。入学後は、1年次対象に前・後期基本英語、基本数学、基本化学、基本物理の4科目8単位の修得を可能とし、学生一人一人の学力に応じた個別相談ができる態勢を加えることにより、初年次教育を充実させるよう努めました。

教育改革支援事業

■大学コンソーシアム岡山

文部科学省「大学改革推進事業」として採択された「岡山オルガノンの構築」（平成21～23年度）の諸事業が大学コンソーシアム岡山に継承されます。大学コンソーシアム岡山は「時代に合った魅力ある高等教育の創造」と「活力ある人づくり・街づくりへの貢献」を目的としています。岡山県内の16大学が連携し（1）大学相互の協力と情報交換、（2）地域社会との交流と生涯学習の推進、（3）地域高校との連携、（4）地域創生学の

構築、（5）地域発信による国際交流を行ってまいります。本学は連携の中で、相互単位互換としてE-learningで開設する倉敷まちづくり科目を3科目提供しました。

■産業界のニーズに対応した教育改善

平成22年度文部科学省「大学生の就学力育成支援事業」に採択され、キャリアセンター(旧就職部)・学務部(旧学生部, 旧教務部)・学習支援センター・健康管理センターの5つの部署が連携した複合的な就業支援体制の構築、また、両備グループなど産業界と連携した産学実践教育を行ってきましたが、この事業が平成23年度で廃止となりました。しかし、平成24年度より新たに「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」として事業形態を変え継続されることになり、平成24年7月に島根大学を中心に中四国の18大学が連携して申請し、9月に選定が決定されました。

学科・コース等新設

■別科

併設の「倉敷食と器専門学校」を大学の別科へ再編することに伴い、従来からの留学生別科(倉敷・神戸)に加え、フードサイエンス分野の技術および知識を習得した人材の育成をめざす調理師別科(1年コース)入学定員40名、製菓衛生師別科(2年コース)入学定員40名を設置しました。

■美術工芸学科

芸術を通じて社会に参画・貢献・活躍できる人材を育成をめざし「美術」と「工芸」の融合による既成の枠を超えた新しい制作表現の可能性を追求する美術専攻と工芸専攻、芸術のスキルを活かして就労するためのカリキュラムを自身で設計する芸術キャリアデザイン専攻の3専攻を設置しました。

■デザイン学科

それぞれのデザイン分野の専門性と分野を融合した総合的なデザインアプローチを通じて、デザイン提案ができる人材の育成をめざし、イラストレーション・グラフィックデザイン専攻、空間・プロダクトデザイン専攻、ファッション・テキストデザイン専攻の3専攻を設置しました。

■メディア映像学科

進化するメディアに対応した専門性の高い指導でメディア技術とコンテンツビジネスを総合的に理解し、質の高いコンテンツを創造するクリエイターの育成をめざし、マンガ・アニメ専攻、ゲーム・Webデザイン専攻、映像・写真専攻の3専攻を設置しました。

申請・届出関係

■学部組織

芸術学部メディア映像学科において、平成25年度より従来の「映像・写真専攻」を「映像・放送専攻」に変更し、他のメディアとの連動も視野に入れた総合的なディレクションのできるクリエイターの育成と新たに独自のセンスで魅力的な作品を生み出す作家や応用力・発想力を持つクリエイターを育成する「コミックイラスト専攻」を設置しました。産業科学技術学部においては、学科構成等の見直しを進め、社会の要望に応じて長く存続するよう組織の組み替えを検討しました。また、生命科学部においては、改革意識を高め、組織の充実を図りました。

■入学定員の見直し

学部学科、大学院修士課程の入学定員および編入学定員について、学生数と教員数に応じた定員数への見直しを検討しました。

受賞・課外活動

■主な受賞

- 第14回雪梁舎フィリッフェ賞展 佳作1名
- 2012京展 入選1名
- 第6回前田青頓記念大賞展 奨励賞1名
- 第63回岡山県美術展覧会
洋画部門 入選1名
日本画部門 山陽新聞社賞、岡山県教育長賞、
県展賞3名、入選1名
デザイン部門 山陽新聞社賞、岡山県知事賞、
岡山県教育長賞、県展賞1名、入選7名
工芸部門 県展賞1名、入選1名
- 再興第97回院展 入選1名
- 第37回JPS展（日本写真家協会展）入選1名
- 平成24年度民謡民舞全国大会
文部科学大臣賞・内閣総理大臣賞
- 第29回外国人による日本語弁論大会（岡山）
最優秀賞

■部活動報告

- アーチェリー部
中四国学生アーチェリー新人選手権大会 女子個人2位
- 空手道部
中四国空手道選手権大会 個人型3位
- 柔道部
中四国学生柔道優勝大会 男子団体2部3位
- バスケットボール部
(男子)中国大学バスケットボール選手権春季大会 2位
中国学生バスケットボール大会新人大会 4位
(女子)中国大学バスケットボール選手権春季大会 2位
中国学生バスケットボール大会新人大会 3位
国民体育大会成年女子バスケットボール岡山県選抜チーム 5位（3名選抜）
- 陸上部
中四国私立大学対抗陸上競技選手権大会
男子4×100m 3位、男子100m 3位、男子400m 3位
女子400m 3位

- フィギュアスケート同好会
 - 日本学生氷上競技選手権大会(全日本イカ)
 - 女子Aクラス 13位、女子Cクラス 12位
- 西日本学生フィギュアスケート選手権大会
 - 女子Aクラス 8位、女子Cクラス 2位

学生募集

平成24年度の学生募集は、次のとおり実施しました。

- (1) 重点地区・加計グループ力を利用した広報戦略
- (2) ホームページの充実
 - ① モバイル（携帯電話）版ホームページの充実
 - ② 留学生対象のホームページの充実
- (3) 大学トピックスのタイムリーな公開
- (4) 満足度・知名度アップ

就職活動支援

■就職ガイダンス・就職対策講座等

就職ガイダンスは、3年次生・修士1年次生を対象に年間15回実施しました。早期から学生の就職に対する意識の向上を促すため、3年生の前期から実施し、OB・OGの体験報告会や4年次生の内定者報告会をはじめ、マナー・メイク講習、個人／集団面接トレーニングや集団討論トレーニングのほか、企業担当者を招いての業界研究会なども取り入れて実施しました。就職対策講座を12月に実施し、履歴書作成や小論文対策等を集中的に実施しました。また、公務員採用試験対策講座を通年で実施し、公務員希望者の支援をしました。

■職業適性等

3年次生対象に、年2回（7月・10月）SPI適性模擬検査を実施し、学生が自分の基礎能力を知ることにより、採用試験に向けた対策に反映せました。また、11月には就職実践模試（一般常識・

基礎学力テスト）やエントリーシート攻略テストを実施するなど、実際の就職試験に備えました。

■就職支援

就職関連情報を、学内主要箇所に設置した大型表示モニターにリアルタイムで表示するとともに、学生の携帯電話やパソコンにメールで配信し、適時に情報を提供しました。また、学生は本学向け求人情報をキャリアセンターホームページや携帯サイトで閲覧できるほか、学生控室に設置した求人情報検索用タッチパネルでも常時閲覧可能としています。採用試験に向けた面接指導や履歴書指導のほか、就職に関する相談もキャリアセンターで随時受付し、学生に対するきめ細やかな就職支援を行いました。

■就職懇談会

企業担当者と教職員が情報交換を行う、加計グループ合同の就職懇談会を、東京（11月）、広島・大阪（3月）で開催し、就職先の開拓や採用情報の入手に努めました。また、2月には企業担当者を本学に招いて行う学内就職懇談会を開催し、参加企業と学生との面談会、教職員との情報交換会を実施しました。

組織等

■大学改革室

大学改革を行うため、学長直轄の事務組織として設置しました。今年度は、時代に応じた新学科の設置、教養教育の再構築、地域貢献を念頭におき、改革を進めました。

主な行事

4月 5日	入学宣誓式
4月 6日 ～11日	新入生・在学生オリエンテーション
4月 8日	大学院（通信制）入学宣誓式
4月12日	前期授業開始
4月14日	霞祭
6月10日	来て見ん祭（オープンキャンパス）
7月28日 ～29日	オープンキャンパス、教員免許状更新 講習
8月 2日 ～ 7日	前期定期試験
9月15日	教育懇談会（地方会場）
9月20日	後期オリエンテーション
9月21日	後期授業開始
9月22日	教育懇談会（本学会場）
9月23日	学部・通信教育課程学位記授与式
9月28日	留学生別科1年半コース入学宣誓式
9月29日	オープンキャンパス
10月27日 ～28日	芸科祭
11月14日	就職懇談会（東京会場）
2月 5日 ～ 9日	後期定期試験
2月12日	就職懇談会（本学会場）
3月 1日	就職懇談会（広島会場）
3月 8日	就職懇談会（大阪会場）
3月23日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成24年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数		収容定員	在学者数		秋期入学 ※			
			留学生	社会人		留学生	社会人				
大 学 院	芸術研究科(博士)	4	3	2	0	12	12	3	1		
	芸術研究科(修士)	20	7	0	1	40	15	0	1		
	産業科学技術研究科(博士)	4	2	0	0	12	5	0	0		
	産業科学技術研究科(修士)	16	3	0	0	32	12	0	0		
	人間文化研究科(修士)	15	5	5	0	30	10	8	0		
大学院 計		59	20	7	1	126	54	11	2	0	
学 部	芸 術 学 部	美術学科	(募集停止)	—	—	—	0	2	0	0	
		美術工芸学科	35	25	1	0	150	106	3	0	
		メディア映像学科	35	35	2	0	125	147	9	0	
		デザイン学科	35	29	0	0	130	142	2	0	
		計	105	89	3	0	405	397	14	0	
	技 産 業 学 部	IT科学科	(募集停止)	—	—	—	60	38	1	0	
		起業経営学科	(募集停止)	—	—	—	60	44	32	0	
		経営情報学科	50	44	20	0	110	81	47	0	
		観光学科	45	20	8	0	180	130	65	1	
		計	95	64	28	0	410	293	145	1	
	生 命 科 学 部	生命科学科	45	37	1	0	180	189	1	0	
		健康科学科	55	41	0	0	230	211	0	0	
		生命動物科学科	65	66	0	0	276	284	0	0	
		生命医科学科	50	55	0	1	185	223	0	2	
		健康医療学科	30	14	0	1	60	34	0	2	
計	245	213	1	2	931	941	1	4	0		
学部 計		445	366	32	2	1,746	1,631	160	5	0	
通学制 合計		504	386	39	3	1,872	1,685	171	7	0	
大 学 院 (通 信 制)	芸術研究科(修士)	10	1	0	1	20	5	0	2		
	産業科学技術研究科(修士)	20	0	0	0	40	0	0	0		
	人間文化研究科(修士)	30	3	0	3	60	9	0	8		
計		60	4	0	4	120	14	0	10	0	
学部 (通 信 教 育 課 程)	産業科学技術学部	(募集停止)	—	—	—	200	8	0	2		
計		—	—	—	—	200	8	0	2		
通信制 合計		60	4	0	4	320	22	0	12	0	
総合計 (通学制+通信制)		564	390	39	7	2,192	1,707	171	19	0	
別 科	留学生別科	60	8	8	—	80	19	19	—	17	
	神戸留学生別科	190	10	10	—	190	10	10	—	—	
	調理師別科	40	9	0	1	40	9	0	1		
	製菓衛生師別科	40	14	0	0	40	14	0	0		
	別科 計	330	41	18	1	40	14	0	0	17	

※ 秋期入学については、5月2日以降(平成24年5月2日～平成25年3月31日)に入学した者です (単位:人)

■ 卒業生数等一覧

(平成24年度)

区分		修了者・ 卒業生	満期 退学	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	博士	0	2	0	0	0%	-	2	0	0
	修士	22	-	10	10	100%	3	1	0	0
学部		378	-	219	209	95%	26	71	18	33
大学院（通信制）		6	-	-	-	-	-	1	0	2
学部（通信教育課程）		6	-	-	-	-	-	0	0	2
別科	留学生	20	-	-	-	-	16	21	0	2
	調理師	8	-	8	6	75%	-	1	0	0

※ 修業年限を超えて在籍している学生数（平成25年4月1日現在）

（単位：人）

主な就職先	近畿日本ツーリスト(株)、JTB九州(株)、(株)京都アニメーション、山陽映画(株)、平喜酒造(株)、(株)ローソン、 (株)イグレットファーム、姫路セントラルパーク、日本赤十字病院、神戸大学附属病院、岡山県警本部、倉敷市消防局 東京消防庁、防衛省、(株)倉敷アイビースクエア、メルパルク岡山、山陽フットサービス、シタックスフットサービス
-------	---

■ 教職員数

(平成24年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	別科講師	教員 計	事務職員
1	2	68	24	13	5	1	4	118	63

（単位：人）

財務関係

■ 消費収支

(単位：千円)

年度 科目	24年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	2,536,518	2,651,761
補助金収入	503,355	487,560
その他収入	105,852	280,446
帰属収入合計	3,145,726	3,419,767
基本金組入額合計	△ 198,390	△ 249,555
消費収入の部合計	2,947,336	3,170,212
人件費	2,135,710	2,920,277
教育研究経費	997,344	1,085,271
管理経費	253,244	278,942
その他支出	19,022	26,267
消費支出の部合計	3,405,320	4,310,757

■ 施設設備整備（抜粋）

(単位：千円)

事業名	金額
2号棟廊下LED照明器具更新	2,205
22号棟1階講義室改修工事	3,700
16号棟1階4159室改修工事	483
大学名表示看板設置工事 来年度着工予定（建仮のみ計上）	5,000
厚生会館改修工事	108,047
有機化合物の構造解析装置(FT-NMR)	74,600
前眼部3次元光干渉断層計	11,771
図書館システムサーバ機器の更新	7,000
プロジェクター装置一式	1,432
健康医療学科機器 [創設経費]	3,000
健康医療学科図書 [創設経費]	298